

# 委員会視察レポート

## 各委員会で先進事業を視察しました。 魅力ある刈谷市づくりに活かします。

### 多文化共生について(群馬県太田市)

企画総務委員会 前田秀文 委員長

太田市の主要産業は、富士重工業(株)、NECパーソナルプロダクツ(株)、三菱電機(株)等の工業都市であり、製造品出荷額は刈谷市を上回る。刈谷市とよく似た環境の中で、外国人労働者人口は刈谷市の約3倍であり、外国人労働者との共生に向けた環境整備を推進すべく、特に教育面では様々な施策を進めてきたとのこと。

具体的には、定住化を希望する外国人の子ども達に向けてブロック別集中校システムを実施し、複数指導員によるチームティーチングや母国語を活用した指導に取り組んでいる。また、市内の小学校を6ブロックに区分し、その中で指定した学校に外国人の子ども達を集中させ、習熟度に応じた日本語指導教室を実施したり、小中学校一貫で習熟度を3段階に分け、太田市独自のカリキュラムにより教科指導を行う等、共生に向けた施策が充実している。

更にニューカマーと呼ばれる南米日系人を中心とする外国人市民が多数居住する都市等をもって構成し、外国人住民に

係わる施策や活動状況に関する情報交換を行う中で、地域で顕在化しつつある様々な問題の解決に取り組むことを目的とする「外国人集住都市会議」を立ち上げていた。近隣市では、豊橋市、豊田市、小牧市、知立市が加入しており、刈谷市も参加を検討すべきと考えます。

そのほか、山梨県甲府市の事業仕分けについて、千葉県市川市のコンビニでの住民票等発行について視察した。



多文化共生の先進事例を学ぶ



最新のシステムを見学

厚木市にプラネタリウムの視察研修に行くにあたり、事前研修として「はばたき」の視察を行ったが、昭和53年に完成したはばたきは、昨今のCGを使ったプログラムには対応しておらず、席の位置によっては見づらいとの印象を受けるものであった。

厚木市は、光学式とデジタル式を組み合わせるハイブリッドシステムで、機体はとても小さいものだが、投影できる星の数が、旧型の機種の6500

個に対し、500万個の投影が可能なのであった。そのため、双眼鏡を貸し出して、目視できない個々の星を見ることがプログラムも行っている。

また、機体が小さいため、本体が移動できるようにしており、会場を多目的ホールとしても利用できるそうだ。

今回は、「HAYABUSA」という大人用のプログラムを見せていただいたが、子どもだけでなく大人が足を運ぶ価値のあるものだった。実際、改修前に120席あった座席数を90席に減らし、大人用の入場料を100円から200円に値上げしたにも関わらず、入場者数は2.6倍となったそうだ。

素晴らしい最新のプログラムは、刈谷市民にも見てもらいたいもので、本市においても今後見直しを検討してもらいたいと感じた。

そのほか、神奈川県鎌倉市のリサイクル率日本一の取り組みについて、栃木県日光市の障害者就労支援について視察した。

### 子ども科学館(プラネタリウム)の管理運営について(神奈川県厚木市)

福祉経済委員会 壁谷信洋 委員長

### 議会基本条例について(福島県会津若松市)

議会運営委員会 加藤 誠 委員長

会津若松市は、平成20年6月定例会において議会基本条例が可決され、試行錯誤を繰り返しながらも、市の提出議案に賛否を示すだけではない新たな議会に変えようと試み、議会運営の進め方が大きく変わりつつある。住民との意見交換会を通じて地域の課題を見いだし政策提案につなげようとするものである。住民との話し合いの場を設けている議会は他市も増えてきているが、会津若松市は、出てきた地域の課題について、専門家を招いて共通理解を深めながら、議員同士で議論を重ね、議会としての合意形成を目指している。

議会基本条例の基本フレームとして、①市民との意見交換会が「意見聴取」の場であること、②広報公聴委員会が「問題発見・課題設定」の場であること、③政策討論会が「問題分析・政策立案」の場であることとしている。市民との意見交換会をサイクルの起点とし、議会が有する「さまざまな個別の意思を統一していくという機能」を踏まえ市民意見・要望に応えようとする方向付けが大切なことだと思われる。

議会の活性化とは議会が独自に動き出し、市民の意向とは異なる決定を下すことではなく、市民に開かれ市民が参加する、いわば市民と歩む議会が必要である。

地方分権時代の今日、法令解釈権は国だけにあるわけではない。そこで、各自自治体の解釈基準が必要になってくる。仮に、議会基本条例が制定されることになれば、最高法規としての刈谷市自治基本条例の下で、整合性ある議会運営体系が創出されると思われる。



議会基本条例制定に向けて検討

そういう意味からも、刈谷市の独自性ある開かれた議会改革を進化させるために議会基本条例の制定に向けて早急に検討していくべきと感じました。

そのほか、宮城県岩沼市の議会だよりより構造改革及び議会基本条例について、福島県二本松市の行財政改革調査特別委員会について視察した。

# 下水道長寿命化計画について

(富山県富山市)

建設水道委員会 沖野温志 委員長

富山市では下水道施設整備後50年を経過する管路が約10kmとなることから、今後発生する老朽管の事故を未然に防ぎ、安定した下水道サービスを持続するため、増加が予測される改築更新に係る経費を平準化し、維持管理により施設の延命化等を適切に行うための改築更新計画を策定している。

この計画に基づき、平成20年に50年以上経過している管渠約9kmを調査や40年代の古い団地の調査など、健全率を踏まえた調査を行っている。

下水道施設の更新については布設替えを基本とするが場所により既設管を活用する工法(プラスチック材による既設管渠の内面皮膜等)を選択している。

調査計画、改築更新計画では調査費用が35年間で約70億円、工事費が36年間で約440億円とのことであった。

刈谷市においても規模が違うものの劣化状況等は同じことだと思われる。多額の調査費用もかかるようだが、調査費は可能な限り削減し、事故を未然に防ぐた



下水道施設を計画的に改築更新



子どもたちの成長に適応した教育を進める

倉吉市は、昨年1校、今年度2校で、小学6年生に教科担任制を導入している。その内容は、6年生3クラスのそれぞれが、国語、算数、理科等の教科を受け持ち、その他教科である書写、社会、理科、音楽、家庭科は教科担任による授業を行うというものである。

教科担任制の導入により、得意分野や専門性を活かした教科指導を行い、児童の興味・関心・意欲を高めることができると、児童に適切な緊張感を与え、負担を軽減し、担任以外の教師とのふれあいや、悩みを気軽に相談できる環境がつけられていること、学年のクラス担任全員で学年の児童を育てるという意識が強くなったことなどが挙げられ、保護者としても、たくさんの教員に見てもらっている点肯定的に評価しているとのことである。

面、時間割編成の工夫と授業時間数の確保、また打合せ時間の確保や協議内容の徹底などが課題とされている。以上のことから、課題は教師側に発生する問題点だけであって、子ども達にとっては良い効果ばかりであれば、刈谷市においても教科担任制の導入を検討しても良いのではないかとと思われる。そのほか、鳥取県鳥取市の校庭の芝生化について、同県米子市の学校事務共同実施及び特別支援教育について視察した。

# 教科担任制について(鳥取県倉吉市)

文教委員会 山本シモ子 委員長

## 委員会の動き

各委員会では議案や請願・陳情の審査のほか、次のことが話し合われました。

### 企画総務委員会

#### ◆所管事務調査

「愛知県西三河地方税滞納整理機構(仮称)の設立について」愛知県と西三河6市で構成する愛知県西三河地方税滞納整理機構(仮称)の設立について説明がありました。

#### 設置の背景

景気の低迷による企業収益の悪化、厳しい雇用・所得環境により滞納者が増加しており、市税の徴収も難しくなっています。このような状況下で愛知県は、愛知県市長会の要望を受け

東尾張、西尾張、知多、西三河、豊田、尾張東部の6地区で設立研究会を設置し検討してきま

た。

#### 概要

##### (名称)

愛知県西三河地方税滞納整理機構(仮称)

##### (組織の形態)

県と西三河6市(刈谷、碧南、安城、西尾、知立、高浜)で構成する任意組織

##### (設立時期)

平成23年4月1日

##### (設置期間)

平成25年度までの3年間

##### (設置場所)

西三河県税事務所安城県税センター内

##### 目的

個人住民税を始めとした地方税の滞納整理を県と市が共同しながら推進し、収納率の向上を

図る。また、滞納整理機構での活動を通じて市職員の滞納整理に係る技術の向上による市税の徴収の強化を図る。

#### 業務

・個人住民税を始めとした市税の滞納整理

・各市からの個別相談事項に対するアドバイス及び技術指導

・市職員の徴収技術向上のための実務研修等

そのほか、「新庁舎の改善要望について」「人権擁護委員について」「外国人集住都市会議について」などが話し合われました。

### 福祉経済委員会

#### ◆所管事務調査

「JAXAはやぶさ公開事業の経緯について」「遊休農地に対する市の取組みについて」「児童虐待の予防策について」「特定健康診査及び歯科健康診査について」「ヌートリアの駆除対策について」「刈谷市新産業技術開発支援補助金の状況について」などが話し合われました。

### 建設水道委員会

#### ◆所管事務調査

「耐震診断及び改修の今後の方策について」「総合運動公園の駐車場整備について」「交差点改良事業(神明町交差点)について」「都市計画道路豊田刈谷線について」「国道419号松栄町渋滞緩和4車線化事業の状況について」などが話し合われました。

## 文教委員会

### ◆所管事務調査

「刈谷市歴史博物館基本計画(案)について」

歴史博物館建設事業における基本計画(案)について、説明がありました。

#### 歴史博物館の理念

刈谷市の歴史資料の保存・継承、調査・研究、その活用を通じて、市民(利用者)が、市の歴史に親しみ、学ぶことができる拠点となることを理念としています。

#### 事業及び活動計画の方針

①利用者にとって、刈谷の歴史に親しめる場所となるよう、体験性を重視します。

②貴重な歴史資料を次世代に引き継ぐため、事業・活動の継続性を重視します。

③市民参加による事業・活動を進めます。



刈谷の祭り体感シアター(イメージ図)

そのほか、「小学校における英語教育の教科担任制について」「部活動指導者活用事業について」「放課後子どもプラン事業の内容と現在の状況について」「森三郎童話賞全国募集事業について」などが話し合われました。